

先般発生した、豪雨は西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。
被災された方々には心からお見舞い申しあげると共に、復興に尽力されている皆様には
安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

BCP対策

近年、地震や台風、大雨などによる自然災害が日本各地で数多く発生しています。
南海トラフ地震、首都圏直下型地震なども、
今後数十年のうちに高い確率で起きるといわれています。

企業活動を行っていくうえで、様々なものが必要となってきます。
我々熱処理メーカーを例に挙げると、製品の熱処理を行う各種熱処理炉、
熱源や動力としての各種エネルギー、熱処理治具や
焼入れに使う熱処理油などの副資材など枚挙にいとまがありません。

BCPという言葉を目にしたことがある方は多いと思います。
日本語では**事業継続計画**と呼ばれ、いつ発生するかわからない自然災害などの緊急事態への備えとして、
災害後もいち早く企業活動の復旧を行えるように、その準備をしておくための計画です。
当社でも東日本大震災のあとに社内でBCP分科会を立ち上げ、災害が発生した際の緊急対応手順や
復旧方法、各種必要資材の緊急調達先、資金計画などをまとめた基準書を作成しました。
しかしながら、今現在災害が発生したとして、うまく運用ができるかは何とも言えません。
日々変化している状況に対応できるように、定期的な見直しや改善が必要です。
なかなか難しいことも多くありますが、一つ一つ着実に進めて行けるように意識をしていきたいと思ひます。



人事評価制度 構築

当社では昨年より人事評価制度の構築を行っています。
しっかりとした制度がある会社も数多くあると思いますが、
小さな企業ではまだまだ整備が不十分であるのが現状です。

近年、日本では労働力不足が深刻化しており、当社においても
慢性的な人手不足による過重労働が一部見受けられます。
その原因の一つに、教育を行い、戦力になってきた若手や
中堅従業員が、様々な不安を抱えて離職をしてしまうことがあります。

大企業のように素晴らしい人事評価制度を構築するのは難しいかもしれませんが。
しかしながら今できることをしっかりと行い、従業員の不安が少しでも改善されればと思います。
自らの仕事に目標を持ち、実行し、改善して、結果を評価をされる。
それらを通じて社会貢献を行い、世の中に必要とされる人材をしっかりと育成していく。
当たり前のことかもしれませんが、今まで不十分であったことを反省しつつ、
この制度を永続的に改善しながら継続させていきたいと思ひます。



安全週間 スローガン

7月1～7日にかけて、全国安全週間が行われました。
弊社では全従業員から標語を集い、最優秀賞1件、佳作3件が入賞しました。
どの標語が選ばれてもおかしくない出来栄でしたが、中でも群を抜いていた作品が
弊社の安全スローガンに決定しました。
入賞した4件を紹介したいと思います。

最優秀賞

『一度でダメなら二度三度 粘りで勝ち取れ 安全職場』

(志賀)

佳作

『見て見ぬふりは今日でやめよう！！安全第一、ゼロ災害』

(山村)

『油断、ぼんやり事故の元、意識を高めて安全作業』

(西)

『仲間には ケガを絶対させないで！！』

(渡辺)

最優秀賞の作者、志賀に一言頂きました。
「前回の全国労働安全衛生週間の標語コンクールに続き今回も標語の神様が降りてきてくれました（笑）
作業環境のキツさは、そこで働いている人が一番良く解っています。
諦めずにどんどん改善提案を上げて欲しいと思います。」

全国安全週間の期間だけではなく、常日頃から安全を意識して作業することに意味があります。
今年も残り半年、安全第一、無災害継続で乗り切りましょう！

今月の一冊 ～ 世界史の謎がおもしろいほどわかる本

皆様は世界史の謎に触れたいと思ったことはないでしょうか？
今月紹介する一冊は、そんなあなたにピッタリの本かも知れません。

内容としては、聖書の中に隠された予言、ケネディ大統領暗殺事件など
世界史の謎とされているものが数多く載っています。
ただ、文庫自体も薄めで、項目も多いので
一つの内容だけを事細かく知りたいという方には不向きかもしれません。

雑学的な内容が多く、ちょっとした時間に読めるので
本が苦手な人にも読み易い一冊です。

気になりましたら是非一読してみてください。



(裏面担当: S-3グループ上野)

〇編集後記〇

8か月ぶりの担当となりました渡辺です。お陰様で各設備、高い稼働率で稼働をさせていただいております。
今年は梅雨が短く、夏の始まりが早いように感じます。健康管理に留意し、安全第一、けが人無しで乗り越えましょう。

肌に突き刺さるような陽ざし、蝉の鳴き声、ふと気がつけば辺りは夏に染められていました。
今年の夏は例年より暑くなりそうなので、まだ7月と思うだけで少し嫌になります。
水分、塩分補給をこまめにとり、熱中症を引き起こさないように気を付けましょう。